

中学校適正配置（学校再編）の意見交換会の概要

期 日	平成 25 年 2 月 13 日（水）	時 間	19：00 から 20：43 まで
場 所	大東中学校 新校舎 2 階ホール		
出席者（学校関係者を含む。）	57 名		
事 務 局	教育委員（教育長を含む。）5 名 学校政策課長、生涯学習課長、学校政策課長補佐、学校政策課指導主事、施設係長、教育総務係長		
No.	質 問	教育委員会説明・回答	
1	何年間の計画を立てているのか。	計画を作って実施までに、最短で今年を含めて 3 年にかかるのではないかと考えている。	
2	答申の中で、「生徒・保護者・地域関係者及び地域住民等の意見を十分汲み取る」ということで答申には出ているという説明であったが、どの範囲まで、どの人たちまで意見を求めるのか。また、具体的にパブリックコメントの実施方法等について計画があるのか。	行政計画を作ったうえで実施していくという考えであるが、全市民を対象に意見を募集して、パブリックコメントを約 1 か月間見込んでいる。その意見を吸い上げて、最終的に基本計画や実施計画に反映できるものは反映させながら計画を作り上げていく。	
3	基本方針（案）の中高連携の中で、6 年間の計画的・継続的な教育指導とあるが、福島高校も生徒数が減ってきて今後どうなるかわからない中で、仮に中学校が 1 校になった場合に高校が残っていることは確証されたことなのか。	今後の廃校が懸念される位置に福島高校もなっているが、1 学年 3 学級がポイントとなっている。3 学級が維持できていれば継続できる。実績を踏まえてどうするのかということは計画の中にあるので、最終的には宮崎県が判断していくことになる。高校存続に向けては、福島高等学校を育てる市民の会において市全体で支援している。今後福島高校を存続させる手法として、県と市が協定することによって連携型の中高一貫校にしていくことを想定して、残していくという考えもある。	
4	学校再編の具体的な説明はできないのか。	今後策定していく実施計画の中で具体的に盛り込んでいく。	
5	意見交換会などをどのくらい実施するのか。	今回の意見交換会で出された意見を集約して、基本計画案及び実施計画案を作成する。計画案ができればあと 1 回開催する予定で	

		ある。
6	学校再編の方向にあるということで意見をいった方がいいのか、まだ選ぶ余地があるのか、どちらで意見をいった方がいいのか。	学校再編の方向で進めていくということである。6校が何校になるのかは決定されていない。学校再編は確実に進めていかなければいけない。
7	小学校の保護者が聞きたいところがたくさんあると思う。	遠距離から通ってきている子どもは、スクールバスを走らせて学校に通わせて、しっかり対応していく。今回は小学校は考えていない。
8	今後の見通しで、意見交換会后、7月に素案の説明があつてパブリックコメントを行って決定するということが、9月以降の策定後の進捗状況を段階的に説明すべきと考えるが。	今後は9月以降になると、具体的な話になっていく。行政だけではなく、学校の教職員、中学校を通して、小学校を通して、PTAにもお願いして学校名、制服はどうするのかと具体的にになっていくので、情報をお示ししながら力を借りたいと考える。
9	中学校6校が何校になるのか。具体的に。	毎月または臨時に教育委員会を開催して、1校案でいいのではないかという意見と、市木では保護者や住民を含めて存続の陳情が出されているが、段階的に統廃合してもいいのではないかという意見が出ている。皆さんの意見を聞きながら、最終的に教育委員会で決定し、一つに絞ったものを持ち寄って説明させていただく。
10	保護者の意見を聞くためにアンケートが良いと思うが、なぜしないのか。	保護者の意見は、意見交換会の中で集約するために開催しているので、アンケートは考えていないと説明したものである。現状ではアンケートは考えていない。今回都合でこられていない方への周知について、市の公式ホームページにも掲載している。全住民への周知として市広報を通じて知らしていくことは大事だと考える。
11	学校に係る予算はどのくらいか。	平成24年度当初予算では、教育費のうち小学校費で学校管理費、教育振興費、学校建設費合わせて176,995千円で、中学校費で学校管理費、教育振興費合わせて93,101千円である。学校の教職員の人件費は県費負担となっているため、含まれない。
12	学校統廃合が進めば地域の人が少な	保護者の希望などにより市外に学校を求め

	くなるのではないか。	る割合が1割であるが、串間市では小中高一貫教育でくしま学を学ばせたり、学校自体に魅力的なものが出てくるような教育の内容を作っていたり、体験的な学習やボランティア活動を取り入れて全面的に出している。そういう学校の教育活動に魅力を感じるものを先生方と知恵を出し合いながら、小中高一貫教育の発展として考えていきたい。
13	小さい子どもをもつ保護者も呼んで何でも言える話し合いをするべきだが。	前回は保育所等に呼びかけたが、今回は自治会長にもお願いし、回覧版で呼びかけた。周知徹底は最善の努力をしていきたい。

No.	意見等
1	今後も途中経過を知らせてほしい。